shindaiwa®

バッテリーヘッジトリマー

取 扱 説 明 書

型 式

BHTI60-550
BHTI60-740

⚠ 警告
ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 取扱説明書の指示内容を守ってください。 守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れが有ります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 8

2 各部の名称と警告表示ラベル 9

3 作業の準備 10
3-1. バッテリの充電 10
3-2. バッテリの取り付け・取り外し 12

4 始動・停止 13
4-1. 始動 13
4-2. 停止 14
4-3. バッテリ容量表示 14
4-4. エラー表示 15

5 剪定・刈り込み作業 16
5-1. 基本的な作業方法 17

6 点検・整備 18
6-1. 点検・整備の目安 18
6-2. 刈刃の手入れ 19
6-3.15 ～ 20 時間毎点検・整備要領 20
6-4.25 時間毎点検・整備要領 20

7 保管 21

8 故障対策 22
8-1. 故障診断表 22
8-2. 製品の廃棄 22
8-3. バッテリの回収 23

9 仕様 24

10 その他 25
10-1. 補用品と消耗品 25

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から購入してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は枝の直径が 6 ㎜ 以下の生垣や植込の剪定、刈込作業に使用してください。**
- **本書に記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**
- **点検・整備をするときは、バッテリを取り外してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者



- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**

事故や重傷を負う原因となります。

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

健康管理

- **休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。**
- **作業中に体調が悪くなった場合はすぐに作業を中断してください。**
- **厚生労働省の通達は次のとおりです。**
  - **1 日の使用時間：2 時間以内**
  - **1 回の連続作業時間：30 分以内**
  - **1 回の連続作業後の休止時間：5 分以上**

健康障害を受ける恐れがあります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

服装の点検

○ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと閉め、すそはズボンに入れる**
- **ズボンはすそ閉まりの良い長ズボンを着用し、すそは作業靴の上部にはさみ込む**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

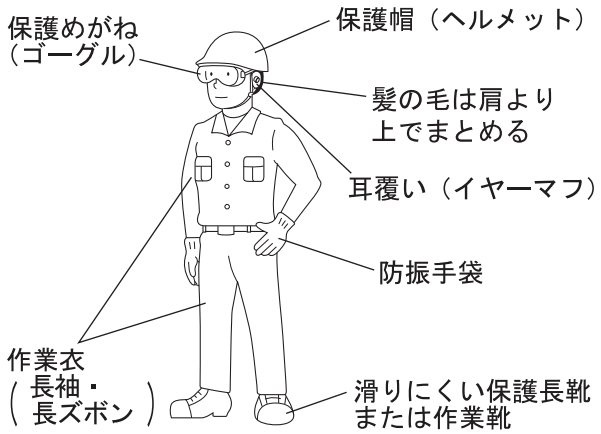
○ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽 (ヘルメット) : 頭部の保護**
- **耳覆い (イヤーマフ) や耳栓 : 聴力の保護**
- **保護めがね (ゴーグル) : 目の保護**
- **防振手袋 : 寒さや振動から手を保護**
- **滑りにくい丈夫な保護長靴や作業靴 : 足の保護**

視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。

○ 必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- **防じんマスク : 呼吸器の保護**
- **防蜂網 : 蜂の襲来対策**



製品の使用環境・作業環境

○ 次のような場合は製品を使用しないでください。

- **降雨時や落雪の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**

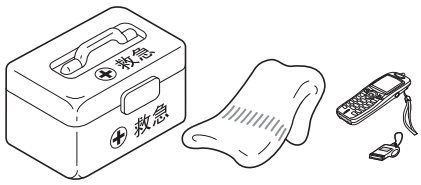
転落や滑落、誤った操作などにより事故や重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

○ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**

応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



発火・発煙・火災への備え

○ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
○ モータユニットから発火または発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
○ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

安全にご使用いただくために

充電器、バッテリ　取り扱い上の注意

⚠ 危険

充電器

❍ 定格表示 (AC100 V) してある電源で使用してください。

誤った充電条件で充電すると、充電ができなかったり異常な充電が行われ、バッテリの発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 充電器の分解、改造をしないでください。

発熱、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所で充電しないでください。

高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり、火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

バッテリ



❍ バッテリを液体で濡らさないでください。

バッテリが異常な電流、電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当る場所、炎天下駐車の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。

バッテリの漏液させる原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ 本書に記載している専用の充電器で正しく充電してください。
❍ 外傷、変形の著しいバッテリは使用しないでください。
❍ バッテリの分解、改造をしないでください。
❍ バッテリは次のような取り扱いをしないでください。

- **火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱する**
- **強い衝撃を与える**
- **鋭いもので刺したり、踏みつける**
- **バッテリの端子部に直接はんだ付けをする**
- **バッテリの＋極と－極を金属で接続する**
- **保管の際に電気を通しやすいものと一緒にする**

絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷し、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

❍ バッテリを直接電源コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

感電、発熱、破裂、発火の原因となり火災を起こしたり、火傷を負うことになります。

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

充電器

○ 規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は充電をやめてください。

感電、発熱、破裂、発火の原因となります。

○ 濡れた手で電源プラグに触れないでください。

感電の原因となります。



○ 風通しの良い場所で充電してください。

○ 雨中や湿気の多い場所で充電をしないでください。

感電やバッテリの発熱、破裂、発火の原因となります。

○ 充電器から煙が出たり、発火した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

○ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

感電やショートして発火する原因となります。

バッテリ

○ 電子レンジや高圧容器の中に入れないでください。

バッテリの密封状態が壊れ、発熱、破裂、発火の原因となります。

○ バッテリの通風口をふさがないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

○ 作業をしないときはバッテリを取り外してください。

不意の始動で事故や重症を負う原因となります。

○ 充電中はバッテリを可燃物に近づけたり、覆ったりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

○ バッテリの使用、充電、保管時に、異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気づいた時は、製品または充電器より取り出し、使用しないでください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

○ 漏液や異臭がする場合は、直ちに火気より遠ざけてください。

漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

○ 漏液した電解液が目に入ったり皮膚についた場合は、流水で洗浄し直ちに医師の手当てを受けてください。

失明したり、皮膚がかぶれたりする原因となります。

安全にご使用いただくために

警告表示について

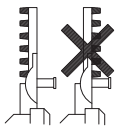
⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

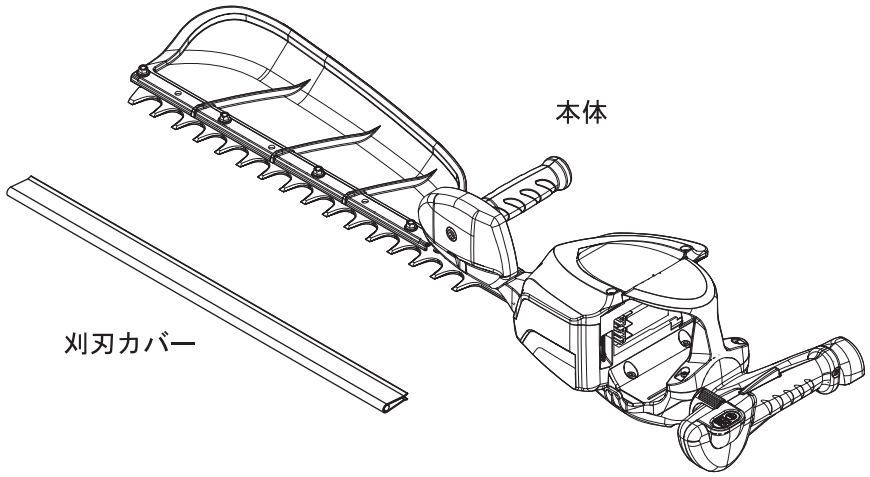
シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		電気ショックに注意すること
	作業中は保護具を必ず着用すること		雨中では使用しないこと
	手の切断に注意すること		火災に注意すること
	刈刃を逆向きに取り付けないこと		

1. 付属品の確認

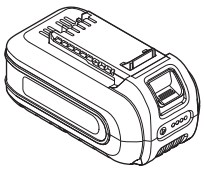
○欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品本体



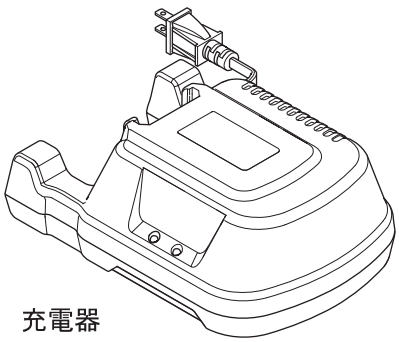
バッテリ　充電器　保証書　取扱説明書　保護めがね

バッテリの箱



バッテリ　取扱説明書　保証書

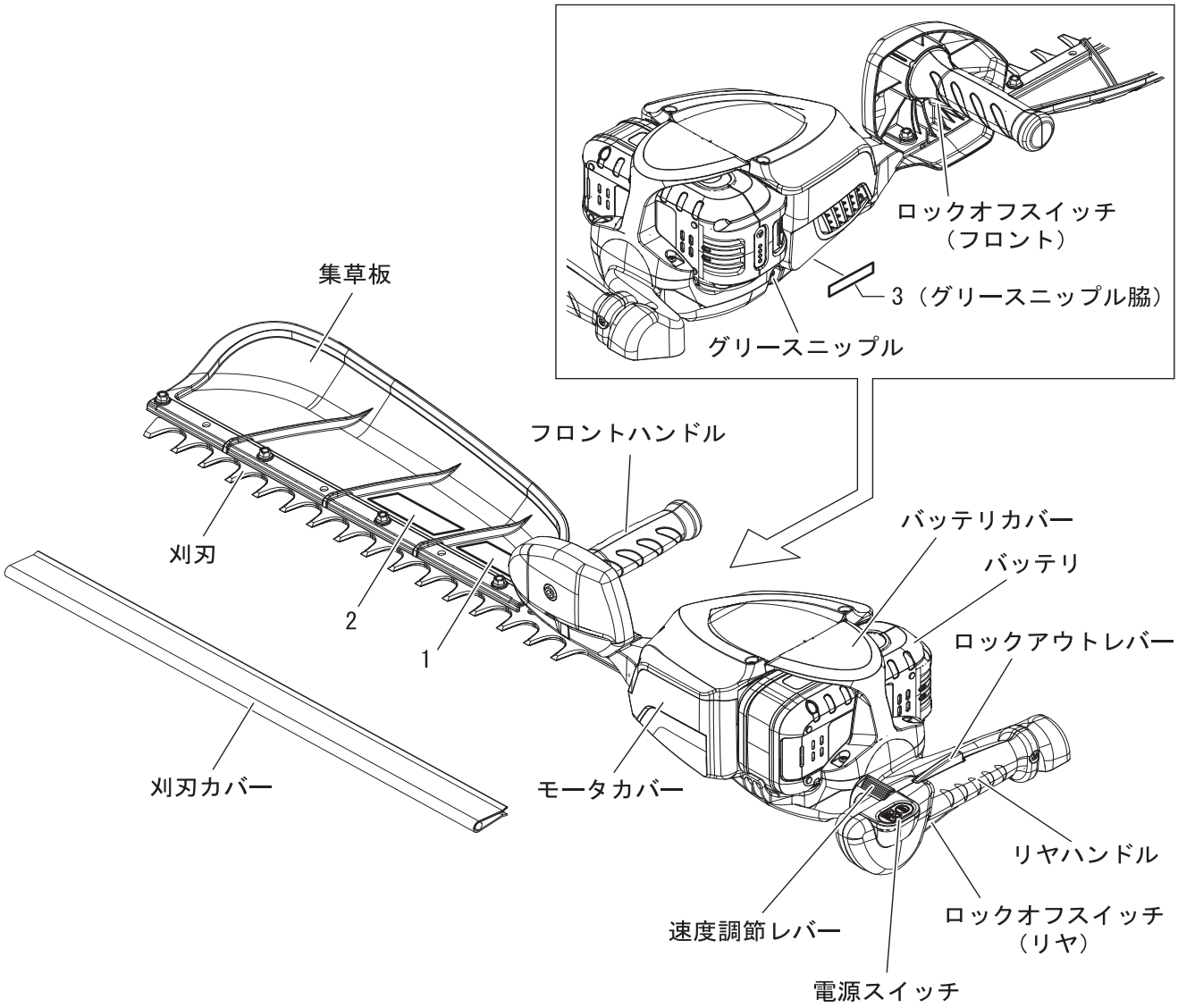
充電器の箱

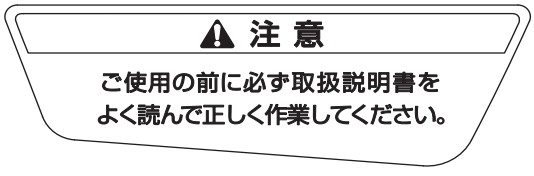


充電器　取扱説明書　保証書

2. 各部の名称と警告表示ラベル

○ 本書で説明している製品の各部の名称および警告表示ラベルを示しています。ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。
○ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。





1. 部品番号：X505-007740



2. 部品番号：X505-007730



3. 部品番号：X505-007750

3. 作業の準備

3-1. バッテリの充電

⚠ 注意

❍ **充電器の通風口をふさがないでください。**
バッテリが発熱、破裂、発火する恐れがあります。



❍ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
- **コードを持って充電器を運ばないでください**
- **コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください**
- **踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないようにしてください**

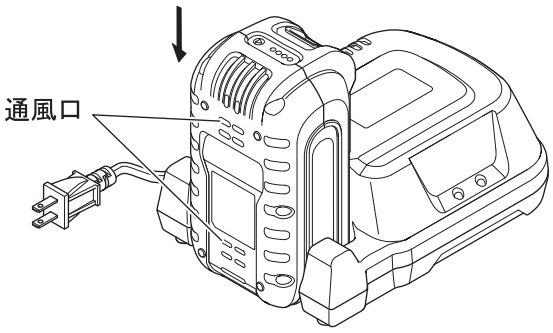


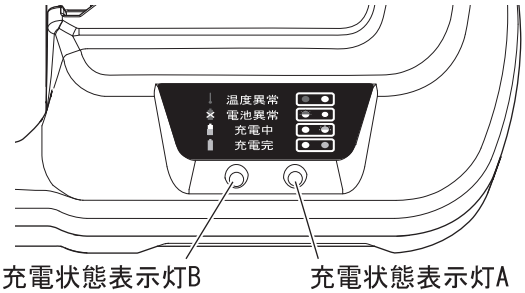
❍ **損傷した充電器は使用しないでください。**
感電やショートして発火する恐れがあります。

重要

❍ 充電温度範囲（5 ～ 40 ℃）以外で充電しないでください。
❍ 初めてご使用する際に、サビ、破損など外観の異常が見られた場合は、使用しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
❍ 輸送時はバッテリが破損したりショートしないように梱包してください。
❍ 長期間本製品を使用しない場合は、規定充電量の約半分を充電し、乾燥した場所で保管してください。また、6ヶ月に一度は補充電をしてください。
❍ 規定時間（24 ページの「仕様」を参照）の充電をしても使用時間が極端に短くなった場合は、指定の新しいバッテリと交換してください。

■バッテリの充電





初めて使用する前に、必ず補充電をしてください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセント (AC100 V) に差し込んでください。
2. バッテリの通風口にゴミ、ホコリなどが無いことを確認してください。
3. バッテリを充電器の差し込み口に確実に差し込んでください。

重要

❍ 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
❍ 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

4. 充電器の充電状態表示灯 A が緑色に点滅し、充電を開始します。充電中、バッテリの容量表示灯が右から左にかけて点滅します。充電器の緑の点滅が点灯に変われば充電完了です。（目安 50 分）

＊ 充電中は充電器内臓の冷却ファンが働きます。

5. 充電中、もしくはバッテリを充電器に差し込んだ時点で、充電状態表示灯 B が赤く点滅している場合は、バッテリまたは充電器の異常です。速やかにバッテリを充電器から外し、充電器の電源プラグを電源コンセントから外して充電をやめてください。
6. 充電が終わったらバッテリを充電器から外し、充電器の電源プラグを電源コンセントから外してください。

＊ 充電が終了したバッテリを充電器に差し込んだままにすると、バッテリ劣化の原因となります。

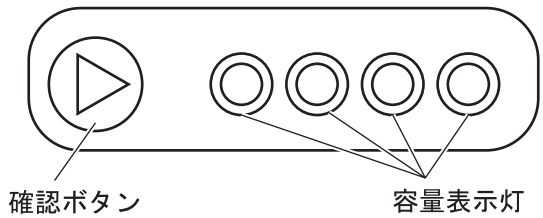
3. 作業の準備

■充電器の充電状態表示灯

充電器には充電状態を表示する充電状態表示灯が前面についています。バッテリを充電器に差し込んだときに点灯または点滅します。

充電状態表示灯の表示		状態	内容及び対処方法
	緑点滅	充電中	充電中です。
	緑点灯	充電完了	充電が完了しました。充電器からバッテリを取り外してください。
	赤点滅	充電不可	充電ができない状態です。バッテリの取り付け部分または充電器とバッテリの端子部が汚れていないかを確認し、汚れていたら清掃してください。 ◆ 上記を確認して状態が改善されない場合は充電器またはバッテリの異常と考えられます。販売店にご連絡ください。
	赤点灯	温度待機	バッテリの温度が充電可能温度範囲外です。バッテリが充電可能温度になれば自動的に充電を開始します。

■バッテリの容量表示

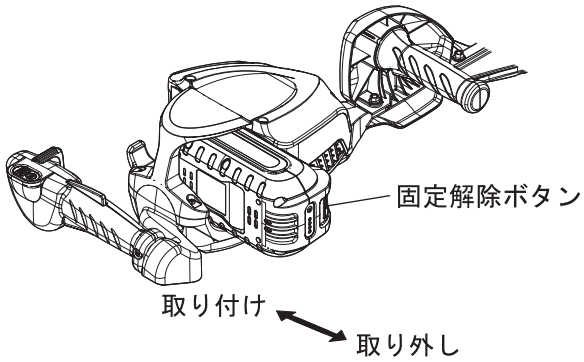


バッテリの確認ボタンを押すと、容量表示灯が点灯または点滅して容量を表示します。

容量表示灯の表示		容量	容量表示灯の表示		容量
	4 灯全て点灯	80-100%		1 灯のみ点灯	10-39%
	3 灯が点灯	60-79%		1 灯のみ点滅	10% 未満
	2 灯が点灯	40-59%		4 灯全て点滅	残量無し

3. 作業の準備

3-2. バッテリの取り付け・取り外し



■ 取り付け

(1) 製品本体後方のバッテリ取り付け位置の溝にバッテリを合わせ、確実に差し込んでください。

(2) カチッと音がして、固定されれば取り付け完了です。

■ 取り外し

(1) 電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。

(2) 取り外すときは、バッテリの固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください。

4. 始動・停止

⚠ 警告

❍ 製品を始動するときは、次のことを守ってください。

- **刈刃のヒビ、欠け、ゆるみ、ガタがないことを確認する**
- **刈刃が地面や障害物に接触していないことを確認する**
- **すべてのハンドルとプロテクタ類がついていることを確認する**
- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**

事故や重傷を負う原因となります。

❍ スイッチに指を掛けて運ばないでください。

製品が作動して、事故や重傷を負う原因となります。

❍ 製品が始動したら、異常振動・異常音が発生していないか確認してください。異常振動・異常音がある場合は直ちに停止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

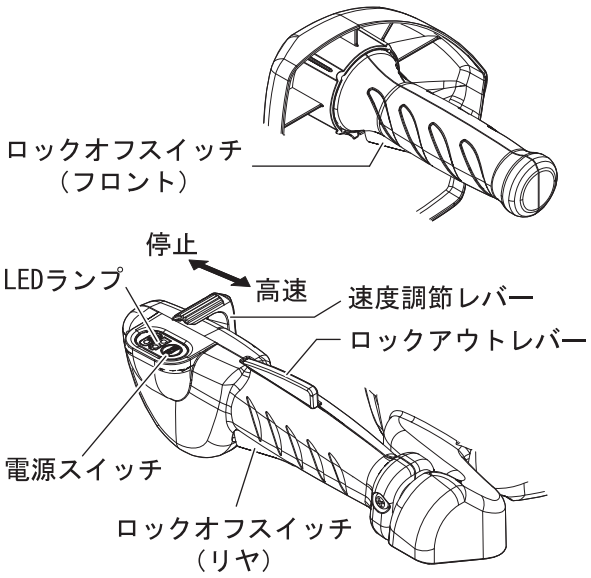
部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

❍ 製品の運転中および停止後しばらくの間は、ギヤケースなどの高温部に触れないでください。

高温部に触れると火傷します。



4-1. 始動

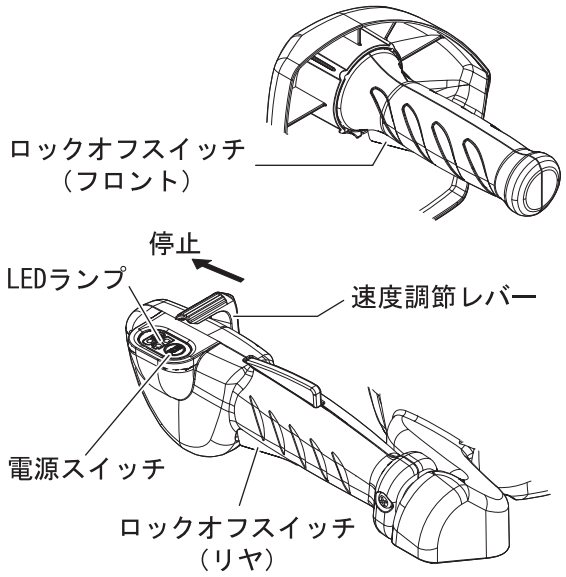


1. 刈刃カバーを外してください。
2. 速度調節レバーが停止の位置になっていることを確認してください。
3. 電源スイッチを押して、電源を入れてください。電源が入ると LED ランプが点灯します。
4. リヤハンドルのロックアウトレバーとロックオフスイッチ、フロントハンドルのロックオフスイッチの両方のスイッチを一緒に握ってください。
5. 速度調節レバーで刈刃の速度を選択してください。（刈刃が動き始めます。）

＊ 電源スイッチを入れたままにして約 1 分間刈刃の作動が無いと、自動的に電源が切れ LED ランプが消灯します。再度操作を開始するには電源スイッチを入れ直してください。

4. 始動・停止

4-2. 停止



1. 速度調節レバーを停止の位置に戻してください。
2. ロックオフスイッチから手を離してください。
3. 電源スイッチを押して電源を切ってください。
   LED ランプが消灯します。

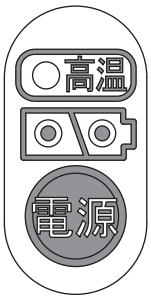
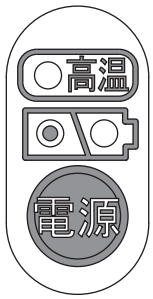
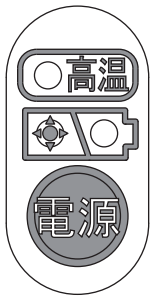
＊ 刈刃が停止しないときは、バッテリを取り外してください。（12 ページの「バッテリの取り付け・取り外し」を参照）
再び製品を使用する前に、お買い求めの販売店に電源スイッチの点検と修理を依頼してください。

4-3. バッテリ容量表示

＊ 電源が ON の状態のときに表示します。

- 電源を入れるとバッテリ容量表示ランプが点灯または点滅します。
- 電源を切るとバッテリ容量表示ランプが消灯します。

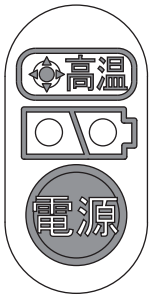
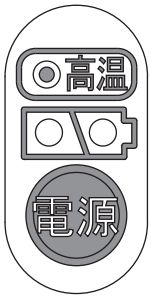
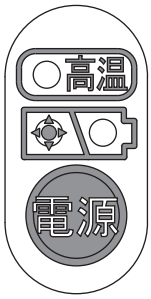
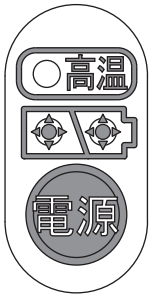
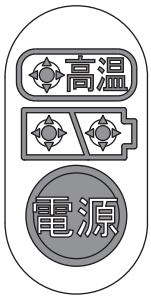
LED の点灯状態とバッテリ容量は下表のようになっています。

	2 個点灯	1 個点灯	1 個点滅 （毎秒 1 回点滅）
LED の点灯状態			
バッテリ容量	60 ～ 100%	15 ～ 59%	15% 未満

＊ バッテリ容量表示はバッテリ温度や周囲温度等で多少異なりますので、目安として見てください。

4. 始動・停止

4-4. エラー表示

LED の点灯状態		エラー内容 ／ 原因 ／ 復帰方法
■ 高温ランプが点滅		・エラー内容：過負荷による停止 ・原因　：刃物ロックなど （太い径の枝や異物が詰まった場合） ・復帰方法　：原因を取り除き、スイッチを入れ直してください。
■ 高温ランプが点灯		・エラー内容：過熱による停止 ・原因　：本機（基板）やバッテリが高温になっている ・復帰方法　：冷却後にスイッチを入れ直してください。
■ バッテリ容量表示が1個点滅 （毎秒 4 回点滅）		・エラー内容：バッテリの容量不足 ・復帰方法　：バッテリを充電してください。
■ バッテリ容量表示が点滅		・エラー内容：不意の作動防止 ・原因　：フロントとリヤのロックオフスイッチと速度調節レバーがすべて ON の状態で電源を ON にした場合 ・復帰方法　：いずれかのスイッチ（フロントまたはリヤのロックオフスイッチまたは速度調節レバー）を入れ直してください。
■ バッテリ容量表示、高温ランプの 3 つが点滅		・原因　：回路異常 ・復帰方法　：お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

5. 剪定・刈り込み作業

⚠ 危険

❍ 製品の中心から半径 10 m の範囲は危険区域です。作業中は次のことを守ってください。

- **危険区域に人や動物を入らせない**
- **危険区域に人や動物が入ったときは、刈刃を停止させる**
- **作業者に近づくときは、危険区域の外から小枝を投げるなどの合図をして作業者に知らせ、刈刃の停止を確認する**
- **二人以上で作業するときは、お互いに合図のしかたを決めて 10 m 以上離れる**

刈刃からの飛散物や刈刃との接触により、失明や死亡事故を起こすことになります。

⚠ 警告

❍ 作業前に、作業する場所にある刈刃周辺にからまりそうなヒモや針金などは取り除いてください。

製品にからみついた針金などが跳ね返ったりして、事故や重傷を負う原因となります。

❍ 剪定・刈り込み作業では次のことを守ってください。



- **ヒビの入った刈刃は使用しない**
- **手を伸ばしたまま、あるいは足元が不安定な場所で製品を使用しない**
- **はしごや台の上で使用しない**
- **常に両手でハンドルを握り、片手で操作しない**
- **刈刃が動いているときには、絶対にハンドルから手を離さない**

事故や重傷を負う原因となります。



- **針金や鉄板など、硬いものを切らない**

故障や事故の原因となります。

- **製品を地面に置く前に刈刃が停止したことを確認する**

刈刃が惰性で動き、傷害を負う原因となります。

- **刈刃に絡まった異物を取り除くときは、電源を切ってから取り除く**

刈刃が急に動き出し、傷害を負う原因となります。

❍ 次のような移動時は刈刃が停止してから、電源スイッチを切り、刈刃カバーを付けてください。



- **作業場へ移動するとき**
- **作業中に他の場所へ移動するとき**
- **作業場から帰るとき**

火傷や重傷を負う原因となります。

❍ 車で運搬するときは製品からバッテリを取り外し、刈刃カバーを付け、製品が動かないように固定してください。

バッテリを取り付けたまま車で移動すると、誤動作の原因となります。

❍ 雨中や湿気の多い場所で使用したり、放置しないでください。

感電や本機およびバッテリが故障する原因となります。

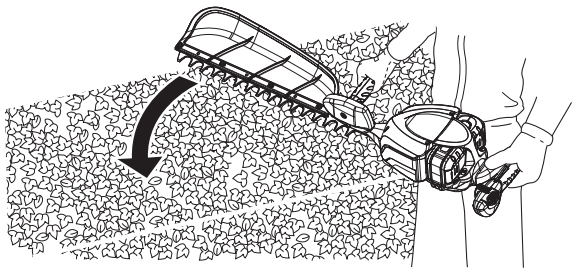
重要

❍ モータユニット側面の冷却通風路をふさがないでください。排気ができず本体が破損する恐れがあります。
❍ 過負荷による自動停止が頻繁に起こると、モーターが過熱して破損する恐れがあるので、過負荷にならないように少しずつ刈ってください。

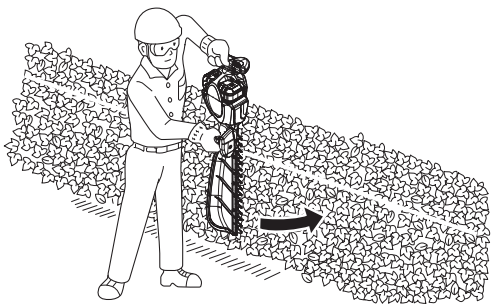
5. 剪定・刈り込み作業

5-1. 基本的な作業方法

重要
❍ 本製品は、枝の直径が 6 ㎜ 以下の低木あるいは生垣用に設計されています。



1. 刈刃を身体から外に向けて刈り込みしてください。刈刃を自分の方に向けたり、身体に近づけたりしないでください。
2. 生垣などの上の方を刈るときは、刈刃を左右に動かしながら刈り込んでください。刈刃をわずかに下へ向けながら動かすと、刈りそろえがうまくできます。
3. 集草板の上に落ちた葉などを生垣の中に落とさないように刈り込んでください。



4. 横側を刈るときは、刈刃を下から上へ動かしながら刈り込むと、刈りそろえがうまくできます。
5. 刈刃を木などに押しつけないでください。刈刃の動きと速度に合わせて操作してください。

6. 点検・整備

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、刈刃を停止し、電源スイッチを切ってからバッテリを取り外してください。**
事故の原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

6-1. 点検・整備の目安

点検・整備項目	作業前または作業後	作業 25 時間毎	作業 100 時間毎	参照ページ
バッテリ容量	○			11
刈刃	○			19
ギヤケースのグリース注油		○ *1		20
製品の周りの清掃		○		20
ボルト、ナット	○			–
各部の増し締め			●	–

○：ご自分で点検・整備してください。
●：製品の性能維持のため、お買い求めの販売店に定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

*1：作業 15 ～ 20 時間毎

異常がある場合、または通常より振動や騒音が増えたと感じた場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

6-2. 刈刃の手入れ

⚠ 警告

❍ **製品からバッテリを取り外してください。**
❍ **刈刃を手入れするときは次のことを確認してください。**

- **厚手の手袋を着用していること**
- **刈刃が停止していること**

事故や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意

❍ **連続運転直後は、ギヤケースが熱くなっているので、触れないでください。**

火傷の恐れがあります。

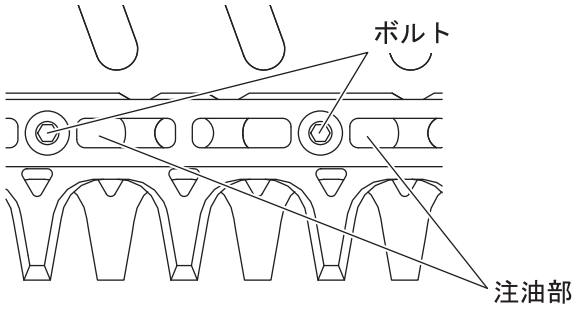
重要

❍ **刈刃の刃先が摩耗したり、上下の刈刃のすきまが狂うと、切れ味が悪くなります。その場合は、お買い求めの販売店に交換を依頼してください。**

■刈刃の清掃

刈刃に樹脂などの汚れが付いた場合は、軽油とオイルを 1:1 の割合で混合したもので、刈刃の汚れを洗い落としてください。

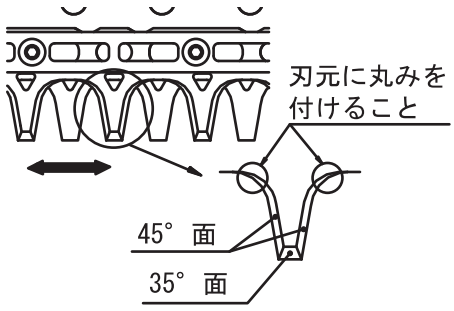
■刈刃の注油



刈刃を固定しているボルトまわりに、オイルを 2 ～ 3 滴ずつ注油してください。

＊ **雨水等で濡れた刈刃部を上向きにしたまま、置かないでください。ギヤケース内に水が入り込んでさびる原因になります。**

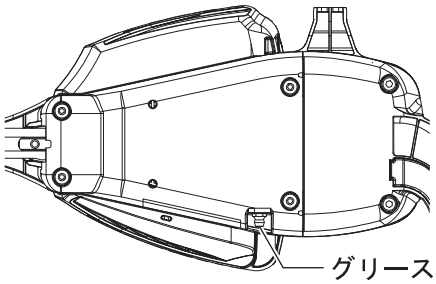
■目立ての方法



1. **平ヤスリまたは目立て機やサンダーで目立てを行なってください。刃元には必ず丸みを付けてください。**
2. **上・下刈刃間に堆積したヤニを取り除くと切味が回復します。**

6-3.15 ～ 20 時間毎点検・整備要領

■ギヤケースのグリース注油



1. グリースニップルから注油することができます。
2. グリースニップルの周りの汚れを拭き取ってください。
3. グリースポンプの場合は、グリースニップルからグリースを注入してください。

＊ グリースは、純正ギヤケースグリースかリチューム系グリース（#2）を 5 g 程度補給してください。指定以外のグリースを使用すると故障の原因となります。

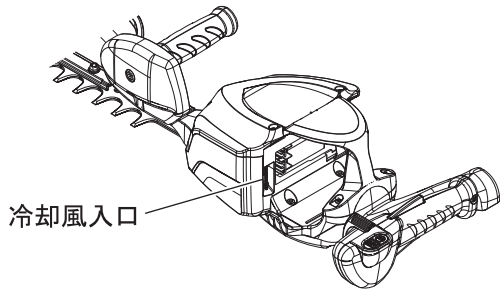
＊ グリースは入れすぎないでください。入れすぎると運転時間が短くなることがあります。

⚠ 注意

❍ 停止後、ギヤケースが冷えてから補給してください。
火傷の恐れがあります。

6-4.25 時間毎点検・整備要領

■製品の周りの清掃



- 製品の周りに付いたゴミなどを取り除いてください。
- 冷却風入口の周りに付いたゴミなどを取り除いてください。

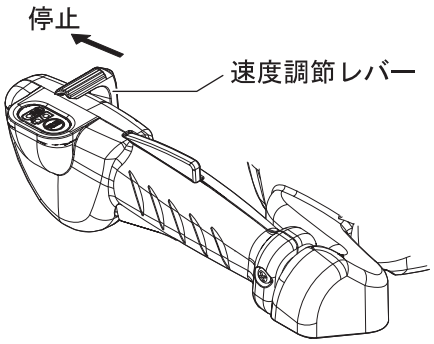
7. 保管

⚠ 警告

❍ **可燃ガスが充満している密閉された場所に保管しないでください。**
火災の原因となります。



❍ **製品を長期間にわたって保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。**



1. **速度調節レバーを停止の位置にしてください。**
2. **製品からバッテリを取り外してください。**
3. **製品が十分に冷えてから、外側に付いたホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。**
4. **本書に定められた定期的な点検をしてください。**
5. **スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。**
6. **刈刃カバーを取り付け、モータユニットをビニール袋などに包み、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。**
7. **バッテリは充電器に取り付けないで充電器とともに、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。また、保管温度は -20 ～ 50 ℃としてください。**

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

■ 本体

故障内容	原因	対策
電源が入らない	• バッテリが製品本体に正しく装着されていない	• 正しく取り付ける (12 ページ)
ロックオフスイッチを握っても刈刃が動かない	• バッテリの容量不足	• 充電する (10 ページ)
	• 刈刃の間に枝などの異物がはさまっている	• 清掃 (19 ページ)
駆動してもすぐに停止する	• バッテリが過熱状態になっている	• バッテリを製品本体から取り外し、十分冷ましてから再度取り付ける (15 ページ)
	• モータユニットが過熱状態になっている	• 電源を切って、製品を十分に冷ます (14 ページ)
	• バッテリの容量不足	• 充電する (10 ページ)
切れ味の低下	• 刈刃の摩耗	• 販売店へ依頼

■ 充電器・バッテリ

故障内容	原因	対策
充電状態表示灯が点灯・点滅しない	• 充電器の電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	• 電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
	• バッテリが充電器に確実に差し込まれていない	• 確実に差し込む (10 ページ)
	• 充電器またはバッテリの端子部が汚れている	• 端子部を清掃する
	• 充電器のコードが断線している	• 販売店へ依頼
	• バッテリの寿命	• 新品と交換

＊ 表中に記載されていない故障など、ご不明な点はお買い求めの販売店にご相談ください。

8-2. 製品の廃棄

❍ 製品や部品を廃棄するときは、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。

8. 故障対策

8-3. バッテリの回収



Li-ion



- 本製品で使用しているバッテリはリサイクルのため、回収しています。
- 廃棄するときは、お買い求めの販売店または当社営業所にお持ちください。

- やまびこは一般社団法人 JBRC（ホームページ http://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。

  バッテリにはリサイクル可能な希少資源が使われています。これらを有効活用するため、使用済みバッテリのリサイクルを推進しています。

9. 仕様

❍ 本体仕様

型式名		BHT160-550	BHT160-740
項目	単位		
質量 刈刃カバーを除く、 バッテリ含む	kg	4.5	4.7
外形寸法（刈刃除く） 長さ × 幅 × 高さ	mm	925×250×143	1055×252×143
刈刃 形式		往復動方式	
ブレード長	mm	550	680
歯車減速比		12.2	
潤滑剤		純正グリース	
モータユニット		DC ブラシレスモータ	
出力	W	160	

❍ 充電器仕様

型式名		LCC36D
項目	単位	
質量	kg	1.0
電源		AC100 V 50/60 Hz
定格出力		41.7 V 5.2 A
充電時間	min	約 40 ～ 50（急速充電）

❍ バッテリ仕様

型式名		LBC-360
項目	単位	
電池		Li-ion
質量	kg	1.3
容量		36 V 2.6 Ah

※ この仕様は予告なしに変更することがあります。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
グリース	X695-000020	50 g
充電器	-	LCC36D
バッテリ	-	LBC-360

- 作業内容と用途および仕様・規格により、本製品への適合性を確認し、お買い求めの販売店とご相談の上、購入してください。

メ　モ

メ　モ

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島市安佐南区大塚西6-2-11　　Tel 082-849-2005（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750-023381
X750817-0102　　1501A 0771 ES

(C) 2013 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。